

支離滅裂な山つゝ

# 若御子山

標高 735m

山行実施日  
2015年10月  
4日  
メンバー  
T脇(L)  
K林、S藤、  
S水や、H田  
と、H田よ  
W部

放射線量  
測定地点  
①山頂値 0.14  
(測定地点は山  
頂のみ)  
計器 エステー株式  
会社 T-ARTS

大宮労山50周年記念行事一環で、「みんなで登る埼玉県の50座」の一つである若御子山に登った。

「山と溪谷社」の『埼玉県の山』というガイドブックの若御子山の項は『若御子山は支離滅裂な山だ。』で始まっていた。

大宮祭の会場の浦山口キャンプ場を起点に3〜4時間の行程なら前夜酔いつぶれて、朝が遅くなっても何とかなると決めた。参加者は、大宮



山頂にて

祭参加の宿泊組5人に加え、当日朝電車で来る2人の総勢7人となった。

綿密な計画を立て、電車組に遅れないように宿泊組は早めに移動。集合場所の浦山口駅には予定の25分も前に着いた。駅前の地図を見ていたらガイドブックのルートと違っていた。メンバーと面白い駅員さんとの会話の結果、あまりルートが荒れていても・・・と、ここであつさり駅前地図のコースに変更。それでも時間は予定通り出発。

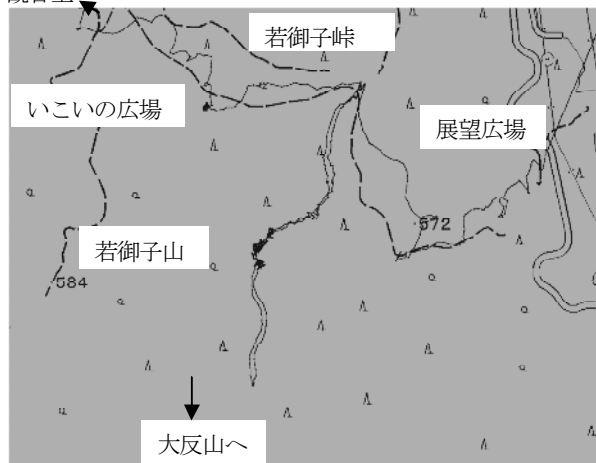
秩父鉄道の武州中川駅から千手観音堂の土俵を見学、東側の生活道路から民家の脇をかすめ登山道に入るが直ぐに舗装された道路に出る。若御子神社裏参道の続きである。これを横切る登山道入り口には「フクジュソウ」と「クマ」「ハチ」の注意看板が設置され、沢の音が大きく響いている。鹿よけネットに入るが後になつて反対側にネットが張られていなかったのが思い出される。南への

直進と東への「いこいの広場分岐」では東方面に向かう。南への直進はP584から大反山経由若御子山への周回と思われる。

「いこいの広場」には東屋があり、奥に進むと若御子峠となる。緩斜面の尾根道から前方に赤い鳥居、奥に祠が3つ。祠の裏手を登ると大岩があり、回り込むと急斜面のザレバ。奥へ進み急斜面の岩場を登ると、手掛かりは多いが浮石も多く落石に注意が必要。登り切ると広い山頂で、東側にはさくら湖を俯瞰出来る。

大反山に向かいかけたが、降り斜面の状況が心配だったので、ちよつと厳しいが来た道をワイワイ、キャーキャー言いながら降った。若御子峠からは廃家屋に向かいさくら湖へと下りた。浦山ダムには無料のエレベーターがあり河床の遊歩道まで下り、15分程度で浦山口駅に着く。後日若御子神社に行ってみた。しだれ桜で有名な清雲寺の隣の静かな

千手観音堂



コースタイム  
武州中川駅出発 9:10・・・千手観音堂 9:20・・・いこいの広場  
10:10・・・若御子峠 10:30・・・若御子山 11:20/12:05・・・若御子峠  
13:20・・・展望広場 14:00・・・浦山ダム 14:20/14:40・・・浦山口駅着  
15:00

寺だ。その裏手からも若御子山に登るルートがあり、良く整備されている。途中の断層洞窟は地質学的には貴重だそうだ。  
(K林 記)